



受講報告書

【日 時】2026 年 5 月 11 日 (月) 13:00～

【場 所】尼崎市議会棟 議員総会室

【テーマ】「こうのとりのゆりかご」から始まる第2の人生

【講 師】宮津航一氏

【参加者】松岡洋司 安浪 順一

【報告者】松岡洋司 松岡洋司

【報 告】

今回、宮津航一氏の講演を拝聴し、「こうのとりのゆりかご」の当事者として歩んでこられた人生や、その経験を社会に伝える思いについて学ぶ貴重な機会となりました。

宮津氏は、2007 年に熊本市の慈恵病院で運用が始まった「こうのとりのゆりかご」に、開設初日に預けられた当事者であり、自らの生い立ちや里親家庭で育った経験を率直に語られました。そのお話からは、多くの方々の支えによって現在の自分があることへの感謝と、同じような境遇にある子どもたちの力になりたいという強い思いが伝わってきました。

特に印象に残ったのは、「こうのとりのゆりかご」は単に子どもを預ける場所ではなく、子どもの命を守るための最後の選択肢であり、その背景には様々な事情を抱えた家庭が存在するということです。一つの制度だけを切り取って賛否を論じるのではなく、その背景にある社会課題や支援のあり方について考えることの重要性を改めて感じました。

また、宮津氏は現在、子ども食堂などの活動を通じて地域の子どもたちを支える活動にも取り組まれており、自らの経験を社会貢献へとつなげておられる姿に深く感銘を受けました。困難な経験を乗り越え、それを前向きな力に変えている姿勢は、多くの人に勇気と希望を与えるものだと感じました。

今回の講演を通じて、子どもの命を守ることはもちろん、その後の成長を地域や社会全体で支えていくことの大切さを改めて認識しました。行政としても、子どもや保護者が孤立しない相談体制や支援の充実を図ることが重要であり、誰一人取り残さない地域づくりを進めていく必要性を強く感じました。

今後も、このような講演を通じて様々な立場の方々の声に耳を傾け、市民福祉の向上につながる視点を持って議員活動に取り組んでいきたいと思っています。